

新発見！考古速報 2023

岐阜県発掘調査報告会

県文化財保護センターでは、県民の皆様に、埋蔵文化財への理解と、ふるさと岐阜の歴史への関心を深めていただくことを目的に、毎年発掘調査報告会を開催しています。今年度は、岐阜県の歴史を語る上で注目すべき発見となった3件の発掘調査成果を発掘担当者や報告書の執筆担当者が報告します。また、遺跡から出土した遺物の展示を行います。

令和5年10月21日(土)

13:15 ~ 15:45
(受付12:45~)

当日受付

会場 岐阜県図書館 1階 多目的ホール

入場無料



上切寺尾古墳群 かみぎりてらおこふんぐん (高山市)

平成27・28年度に発掘調査を実施した。弥生時代後期から古墳時代初頭に造られた51基の墳墓を確認した。墳墓は埋葬部の周囲に方形や不定形の溝が掘られ、墳墓の多くは溝で掘削した排土などを盛って墳丘が構築されていた。このように墳丘盛土が残存する墳墓群は岐阜県内では少なく、貴重な事例である。



最新の
発掘成果を報告!



県史跡 松倉城跡 まつくらじょうあと (高山市)

松倉城は、標高856.7mの松倉山につくられた戦国時代の山城である。高山盆地が一望できる場所にあり、飛騨を統治する上で重要な拠点であったと考えられている。令和元年度から実施した発掘調査により、二ノ丸では2時期とみられる建物の礎石や、三ノ丸では巨石を用いた埋門など、城郭の構造を明らかにする新たな発見があった。



湯ヶ峰山頂遺跡 ゆがみねさんちょういせき (下呂市)

下呂温泉の背後にそびえる湯ヶ峰では、火山活動にもなって下呂石とよばれるガラス質の岩石が産出している。下呂石は約38,000年前から石器の材料に使われており、湯ヶ峰には下呂石を採りに来た人々の痕跡が多数のこされている。今回は、湯ヶ峰で新たに発見した遺跡、令和4年度に発掘調査した遺跡からわかってきたことを紹介する。

お問い合わせ先

岐阜県文化財保護センター 調査課

TEL 058-237-8550 月～金曜日(祝日を除く) 9時～17時

FAX 058-237-8551

E-mail: c21807@pref.gifu.lg.jp

主催 岐阜県文化財保護センター 共催 岐阜県図書館

